

# お年寄りと女性ドライバーの死亡事故が増加

平成元年交通事故白書



平成元年の白根警察署管内の交通事故白書がまとまりました。管内の交通事故発生件数は、百八十一件で、傷者数は二百二十一人、死者数は五人でした。発生件数、傷者数は減少したものの、死者数は増加しています。昨年の事故の特徴として、六十歳以上の高齢者の死亡事故（昨年〇人に対し、四人死亡）と女性ドライバーの死亡事故が増加しています。

## 運転免許を持っていないお年寄りが事故の犠牲に

お年寄りの交通事故の特徴として、犠牲になっているお年寄りは、運転免許を持っていない人が多いということです。免許を持っていないため、車の恐ろしさを知らないのです。そのため、車のスピードを考えずに道路を横断して事故に遭ったり、いきなり道路に飛び出して事故に遭うということがあります。また、交通事情が今と昔では大きく変わってきているのに、昔の感覚のままでもいることも大きな原因といわれます。そのほか、体力（視力、聴力、脚力）の衰えにより、車の発見が遅れ事故に遭うケースもあります。お年寄りの事故のうち一つの特徴は、自宅近くで事故に遭うケースが多いということがあり

## 相手がなんとかしてくれる依存心が強い女性ドライバー

女性ドライバーの一般的傾向として、依存心が強いということがいえます。相手がなんとかしてくれると思いついて、ついそのまま運転をして事故に遭うというケースもあるそうです。また、最近では女性ドライバーのスピード違反者が急増しているそうです。スピード違反者の

交通安全の願いを込めて、白根地区交通安全協会新飯田支部では四月二十四日、昨年四月に同地区の国道8号で起きた交通事故死者の供養を行いました。この事故は、軽自動車が大タンクローリー車と正面衝突したもので、犠牲者は軽自動車を運転していた小出町の三十四歳の女性。この女性は、青年海外協力隊員として派遣される直前に事故に遭うという悲劇でした。



平成元年  
交通事故発生地点  
○交通事故発生地点  
●死亡交通事故発生地点

## 市内の交通事故の57.2%が国道8号で発生

どこで交通事故が発生したかを、地図に落としたのが上の図です。国道8号での事故が五七・二%を占めます。元年の市内の死亡事故三件は、すべてこの国道8号で起きたものです。国道8号は、交通事故の最危険地帯なのです。国道8号での事故の種類は、ほとんどが追突によるものです。特に下塩俵地内での追突事故が多発。今年二月には、大型トラックによる、玉突き追突事故が発生。八台の車が巻き添えに遭いました。渋滞時に、速度が遅い

## 交通警察官の手記

新潟県警から発行された小冊子「母さんの子守唄—交通事故の波紋—」の中から一編を掲載します。

毎日起きている交通事故。数多くの死亡事故にかかわってきましたが、一つだけ思い出したくないのに、思い出ししてしまう事故があります。それは、幼女をバックした車がひいた死亡事故です。

おばあちゃんと遊んでいた一歳七か月の女の子が、おばあちゃんが目を離れた少しの間、左後ろを見ないでバックした親戚の運転手の車にひかれたのです。ちょうど同じく

### こんななさせられて

「こんななさせられて……」と嘆き悲しんでいます。この言葉と眠っているような子ど

### 母親の嘆き

みると、仏壇の前に寝かされた子どもに、母親が寄り添い頭をなでながら

### 白木忠雄

「こんななさせられて……」と嘆く母親の言葉を二度と聞きたくないのです。それには、一人ひとりが交通事故に対して危機感を持ち、あわてないよう細心の注意を払い、なりふり構わず交通事故防止に努力する必要があると思います。